

最終の整備計画案（昨年、工事着手）

←整備の範囲＝太い破線の範囲

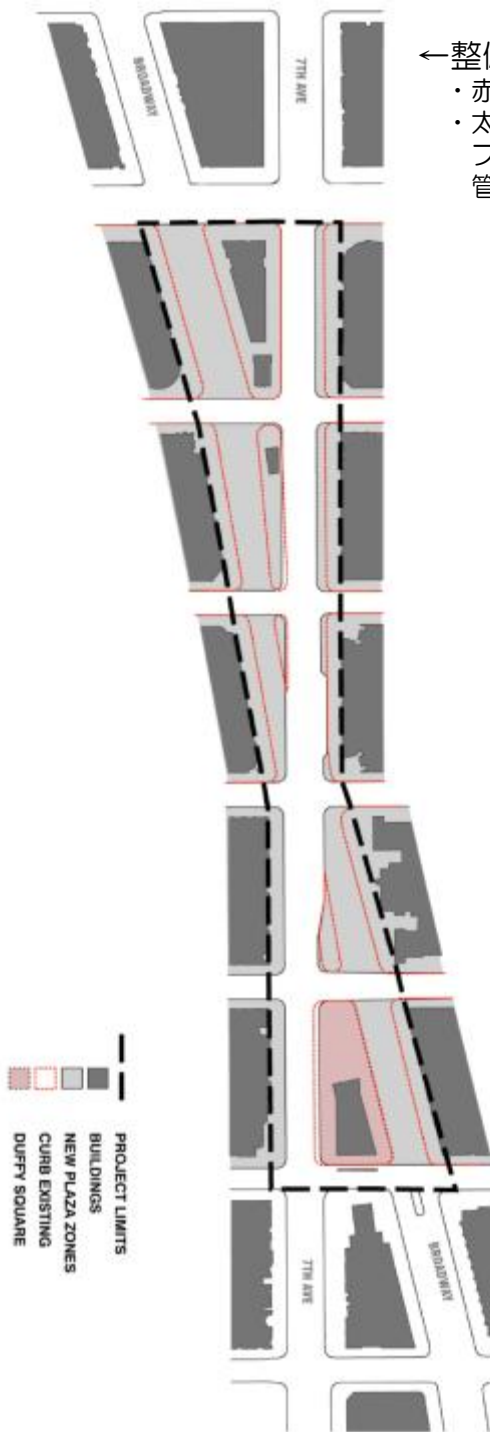
- ・赤線が現状の歩車道境界線
- ・太破線内のグレイ+赤のDuffy Squareの部分が歩行者プラザ化される部分（BIDの管理面積は約6000㎡。管理費見込みは約100万ドル／年）

本設整備計画図（地元説明資料より）

舗装計画→

- ・プラザの他、交差する東西道路(クルマが通る)の部分も一体的にブロック舗装される点に注意。交差道路の自動車の停止線もセットバックされている
- ・舗装の他、恒久的な石造りのベンチも市による整備
- ・市の事業費は、11年9月の説明会時点で2600万ドルを予定

完成パース：赤矢印部分が車道だった部分



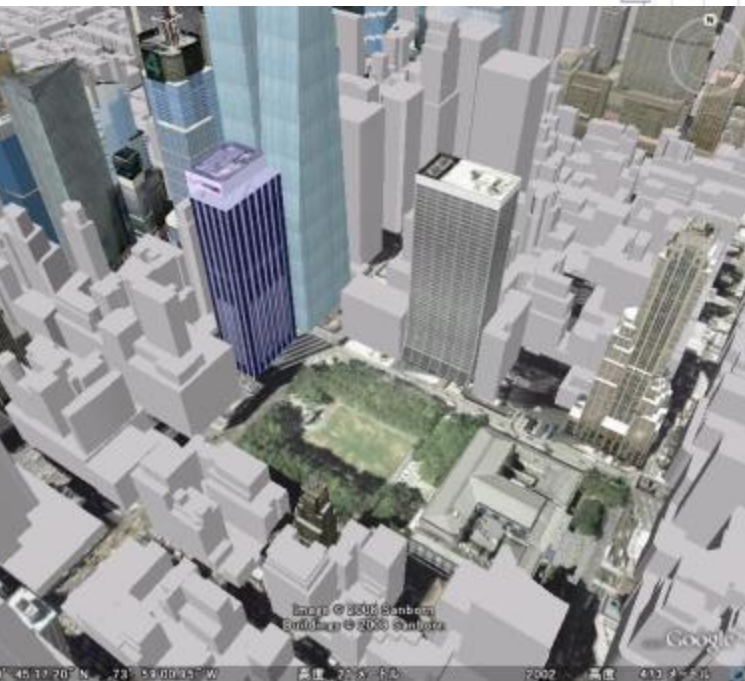
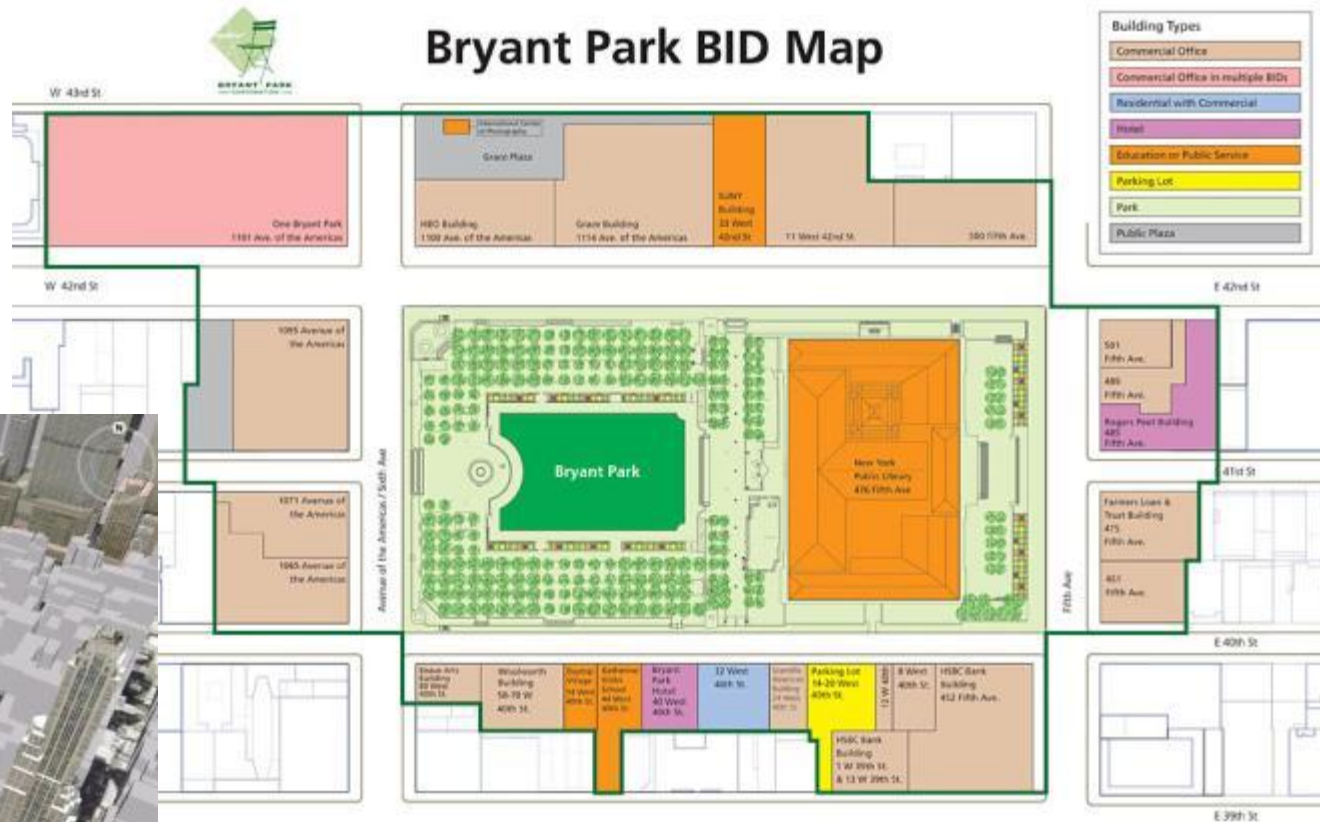
○歩行者空間には、BIDが、路上飲食販売店、観光案内スタンド、植栽ポット(水遣りしている人はBIDが雇用)などを置き、空間利用者の利便を図っている

⇒写真で、路面に水色・緑色塗装している部分やベンチを置いている部分は、元々は車道だった所



③ブライアントパークBID

- ブライアントパークBIDは、地区内に公園(約4ha)を抱えその管理も行っている事例
- BID団体は、市から包括的に公園管理を受託しているが、市からの委託料はゼロであり、その代りに公園を使ったイベント使用料等もBIDに入る仕組みになっている
- その結果、BIDの収入に占める税の割合は1割と、市内のBIDでは例外的に税依存が低い



出所: Bryant Park CorporationのHPより



9月末の昼休み時間の様子
周辺のオフィスワーカーらが公園に
出て来て昼食を取ったり、日向ぼっ
こしている